

2024年10月16日
イオン北海道株式会社

子育て支援や教育環境、動物園の充実に活用されます 「とがち帯広WAON」の寄付金を贈呈いたします

イオン北海道株式会社は、10月22日（火）に、「とがち帯広WAON」のご利用金額の一部を寄付金として帯広市に贈呈します。

帯広市とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、市民が心豊かに暮らし、夢や希望があふれるみらいのまちづくりに協働で取り組むことを目的に、2017年10月に「協働のまちづくりに関する包括連携協定」を締結し、その取り組みの一環として電子マネー「とがち帯広WAON」を発行しました。このWAONは、イオングループの各店舗やWAON加盟店でご利用いただくことにより、そのご利用金額の一部を帯広市に寄付し、子育て支援や教育環境、動物園の充実に役立てられています。

「とがち帯広WAON」の2023年度の寄付金総額は334万2,791円となり、こども未来基金やこども学校応援地域基金、おびひろ動物園ゆめ基金に積み立てられ、各事業の推進に活用されます。

当社は、今後もお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、帯広市との連携を深め、一層の地域活性化および市民サービスの向上に努めてまいります。

【「とがち帯広WAON」寄付に伴う感謝状贈呈式について】

日 時： 2024年10月22日（火）13:45～13:55
場 所： 帯広市役所4階 市長室
出席者： 帯広市 市長 米沢 則寿 様
イオン北海道株式会社 代表取締役社長 青柳 英樹
贈呈先： 帯広市
贈呈金額対象期間： 2023年3月1日～2024年2月29日
贈呈金額： 334万2,791円

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

この取り組みはSDGsの目標4、11、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。



■「とちかち帯広WAON」について

発行開始：2017年10月13日

発行手数料：300円（税込）

※iOS版「WAON」アプリでも発行が可能です。

その際、発行手数料は無料になります。

累計寄付総額：1,197万9,094円

発行枚数：5万3,167枚（2024年2月末時点）

寄付活用について：「とちかち帯広WAON」の寄付金は、こども未来基金やこども学校応援地域基金、おびひろ動物園ゆめ基金に積み立てられ、帯広市子育てガイドブックの作成や子どもの学びと育ちを支える様々な団体の支援、おびひろ動物園施設整備などに活用されます。



■活用先の一例

1. こども未来基金 協定項目：未来を担う人材の育成に関すること
帯広市では、5か月児健診時の絵本の配布や、子育てガイドブックの作成・配布を行っており、基金はそれら事業に活用されています。なお、今年度も4か月児健診時に絵本の配布や、子育てガイドブックの作成・配布に活用されます。



【子育てガイドブック】

2. こども学校応援地域基金について 協定項目：未来を担う人材の育成に関すること
帯広市では、地域総ぐるみで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを目指し、様々なボランティア団体や地域団体が連携して行う子どものための活動を支援するとともに、研修会や広報活動によりボランティア人材の養成や裾野の拡大を図っています。今年度も同様に様々な活動の支援やその周知などに活用されます。



【帯広市内の小学校で行われた地域との行事】

3. おびひろ動物園ゆめ基金 協定項目：文化・芸術・スポーツ振興に関すること

おびひろ動物園では、基金を財源に令和5年度（2023年度）、東側トイレや園路の整備を行いました。なお、今年度は、新キリン館整備や東側こども広場整備実施設計、園路舗装などに活用される予定です。



【園路】



【東側トイレ】

■イオンの電子マネー「WAON」の使用箇所について

使用可能箇所：道内で2万100箇所（2024年2月末時点）

※自動販売機・タクシー・ドライバー端末を除く

使用箇所一例：イオン系列スーパーや、「セイコーマート」「ローソン」「ファミリーマート」、「ツルハ」「サツドラ」「サンドラッグ」、「しまむら」「マクドナルド」、「帯広市役所（戸籍住民課・市民税課税証明窓口）」、「六花亭※」「柳月※」「クランベリー」「十勝トテッポ工房」、「とかちむら産直市場」、「北斗病院」「帯広中央病院」

※一部店舗を除きます。

■帯広市との取り組みについて

○「フードバレーとかち」への参加

「フードバレーとかち」は、十勝の19市町村が連携して進める「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策です。当社はこの政策に賛同し、2022年より「フードバレーとかち」認証商品の開発・販売を行っています。

現在、音更町農業協同組合で栽培された規格外の「長いも」を加工した「カット長いも」や「十勝産の味付けとろろ※¹」、を、十勝管内の「イオン」「マックスバリュ」5店舗において販売するなど地場商品の消費を推進しております。

また、10月18日（金）～20日（日）のイオン道産デーでは、道内のイオン・マックスバリュにて、芽室町産の土ごぼうやごぼうサラダ、北海道小麦の十勝金時豆パンの販売を行います。※²

当社では今後も十勝の食材を生かした商品開発を継続してまいります。

※¹：「十勝産の味付けとろろ」は十勝管内以外の「イオン」「マックスバリュ」でも販売しております。

※²：一部店舗を除きます。また、十勝管内のザ・ビッグ3店舗でも販売を行います。



○「フードドライブ」をスタート

2024年4月より、イオン帯広店にてフードドライブをスタートしました。フードドライブは、「ご家庭で消費されずに残っている未開封かつ賞味期限内の加工食品」を店舗にお持ちいただき、その後必要とされている団体さまにお届けすることにより、食品廃棄物削減につながる取り組みの一つで、当社では2022年6月からスタートしました。

イオン帯広店で回収された食品は、帯広市よりご紹介いただいた高齢者福祉事業の他、地域公益的取り組みとして子ども食堂などを行う「社会福祉法人 刀圭会」へ寄贈し、地域のボランティア団体や生活の支援を必要とされている方々へ届けられます。なお、4月から9月までの累計回収個数は736個となっています。また10月は、食品ロス削減月間に合わせ、マックスバリュ稲田店でも実施しました。

①イオン帯広店フードドライブ回収ボックス

②イオン帯広店で回収された食品



○イオンレイクタウン・十勝・帯広観光ブースの設置

9月25日(水)～10月1日(火)、埼玉県越谷市にある商業集積「イオンレイクタウン」で開催された北海道フェアにて、十勝・帯広観光ブースが設置され、観光PRなどが実施されました。



【イオンレイクタウンの十勝・帯広ブースの様子】

○帯広市避暑可能民間施設として公表

7月23日(火)から9月30日(月)までの期間、帯広市より、イオン帯広店をはじめ、帯広市内にある5店舗が帯広市避暑可能民間施設として公表されました。

また、店舗では「イオンのお店でクールシェア」という涼しい館内への来店を呼びかける取り組みも実施しました。